



楽しく 安心して過ごせる 成瀬小学校

～豊かな人権感覚の育成を通じて～

〈校長挨拶〉

本校は、令和2年度から4年度の3年間、伊勢原市教育委員会から人権教育の研究指定を受け研究を進めてまいりました。学校における人権教育については日頃からその取組を進めてきたところではありますが、特に研究指定を受けた期間は、新学習指導要領の全面実施やGIGAスクール構想に基づく一人一台端末の整備、学校における働き方改革の推進、そして新型コロナウイルス感染症拡大など、学校を取り巻く情勢も様々に変化が見られた状況でした。

その中であって本校では研究を進めるにあたり、あらためて学校教育目標と人権教育とのつながりを確認し、そのことをふまえた上で、「楽しく 安心して過ごせる 成瀬小学校～豊かな人権感覚の育成を通じて～」を研究主題として取組を進めていくことといたしました。

また、取組の指針としましては、特別なことを取り立てて行うというのではなく、全職員が普段の学校での活動において意識すれば実践できることを基本とし、教育活動においては、児童の話し方や聞き方を中心としたコミュニケーション力を高めていくことを視点として授業実践を積み重ねていくことといたしました。さらに、これまで市内各校で行われてきた指定教育研究事業の実践も積極的に取り入れながら取組を進めてまいりました。本研究を通じて得た成果と課題を日々の実践に生かし、今後の教育活動の充実につなげていきたいと考えております。

結びに、これまで本校の研究にご指導・ご協力いただきました横浜国立大学小宮龍一先生をはじめ、神奈川県教育委員会及び伊勢原市教育委員会の指導主事の皆様、またご尽力いただきました多くの関係の皆様から感謝を申し上げます。

令和2年度, 3年度, 4年度

伊勢原市教育委員会教育指定研究 研究紀要

令和4年9月30日 伊勢原市立成瀬小学校

1 研究テーマ設定の理由

誰もが経験したことのない未曾有の災害(コロナ禍)から、令和2年度の学校生活が始まることとなった。2か月間の臨時休業を経て、子どもはもちろん保護者も教職員も大きな不安を抱えた中で学校研究として取り組むにふさわしい題材を考えた時、「誰もが安心して学校に通えるようにしたい」との思いが強まった。

また、本校はこれまでに外国語活動において授業実践を軸に研究を進めてきた。その際授業力向上のために教職員一丸となって実践を行うことができた。この全員で行えることこそが本校の強みである。しかし、微妙なニュアンスが伝わらずに子どもたちへの指導・支援の視点がすれ違ってしまいうことも見られた。

子どもたちにとって安心できる学校づくりのために、教職員と子どもたちが同じ感覚意識を持つことが大切である。そこで、豊かな人権感覚の涵養を通じて相手を思いやる心情を育て、それによって成瀬小学校で生活する全ての人々が安心できる環境が作られるのではないかと考えた。

以上のことから学校研究テーマを「楽しく安心して過ごせる成瀬小学校」、副題を「豊かな人権感覚の育成を通じて」と設定した。

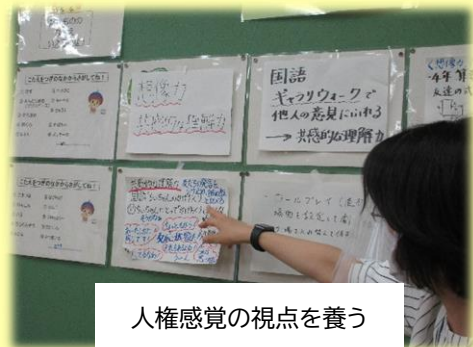
2 研究仮説

コミュニケーション力を向上させることで児童間のトラブルが減り、あるいは解決に向けての話し合いができるようになるのではないかと。さらに、相手を思いやる気持ちが育ち、誰もが楽しく安心して過ごせる成瀬小学校になるのではないかと。

丁寧な言葉遣い(呼名の統一)、挨拶の励行、聞き方・話し方の指導、「ふりかえりシート」の活用などを通じて、学校生活全体で子どもたちの人権感覚を涵養していく。



小宮 龍一先生 講話

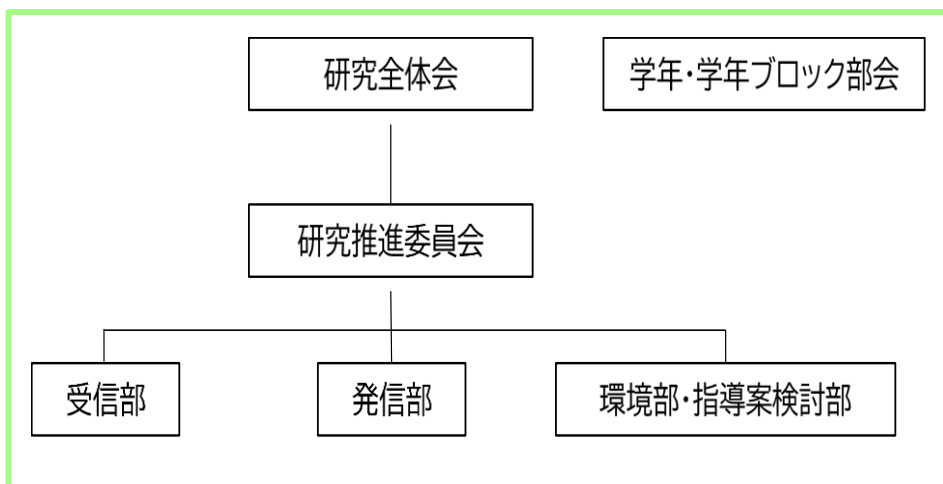


人権感覚の視点を養う



様々な意見を学校全体で共有

3 研究組織



学年ブロックによる人権研究



研究全体会による意見交換



人権とは何かを考える